



東村山町内見て歩き

東村山観光ボランティアガイドの会

明治 22 年(1889)4 月廻り田・野口・久米川・大岱・南秋津の 5 か村が合併して東村山村となりました。その後、昭和 17 年東村山町制施行、昭和 39 年東村山市となり 13 町 53 丁目とする町界・丁目整理が実施され町の堺はなるべく公道、河川、鉄道などとし、丁目の配列は原則として東南を基点に右回りの状式に配列し 5 丁目までにとどめている。各町を紹介していきたいと思います。

—☆恩多町☆—

☆大岱(オンタ)が恩多町に

恩多町の北東の境は鷹の道、南の境は新青梅街道としています。古くは久米川村に囲まれ 承応 4 年(1655)野火止用水開鑿によって開かれたといわれています。大岱の名前については定説はありませんが、大沼田がオヌタとなまり、大岱に転化したともいわれ、オヌタはアイヌ語で低い所のきれいな沼地という意味があるといえます。寛保 4 年(1744)鑄造の地藏庵の半鐘に「入間郡山口領大沼田村」と刻まれています。

昭和 39 年市制施行に「大岱」の呼び方を変えずに、親の恩、自然の恩、など多くの恩を受けていることから恩が多い町、「恩多町」とした。



恩多辻 地藏庵の半鐘



入間郡山口領大沼田村



大岱小学校校章

江戸時代に成立した大岱村は多摩郡内にありながら入間郡に属し、入間郡の飛び地となっており一方、所沢市内の入間郡内の日比田村は多摩郡に属していました。江戸時代土地調査を行った役人が幕府に報告の際、日比田村の上 2 文字を誤って昆田(コンタ)と記し語感が似ていた大岱と混同されたことから間違いが生じたものといわれ、明治 13 年(1880)3 月に郡区町村編成法により大岱村と日比田村が交換編入され今の形になった。大岱小学校、大岱稻荷神社に大岱の文字が使用されている。

☆恩多辻 地藏庵



市内には3つの辻、九道の辻・久米川辻と恩多辻があります。恩多辻は村の中心で5本の道が交わる交通の要諦でありました。恩多町自治会館の場所には、享保14年(1729)目黒の祐天寺と末寺関係を結んだ地藏庵と呼ばれるお堂があった。今でも石造りの地藏菩薩立像を納めた小堂があります。また、享保18年(1733)行者が立てた宝篋印塔と江戸時代には高札場が設けられたので高札場跡の石柱があります。地藏庵にあった半鐘は市消防団第七分団の軒先にあります。

☆大岱稻荷神社



寛延4年(1751)京都伏見稻荷から勧請された大岱村の鎮守様です。

山岡鉄舟揮毫の2枚1対の祭礼幟があり15人がかりで幟をたてる石製の台にも鉄舟の文字を見ることが出来ます。



神社の裏手を流れる野火止用水に石の橋があり貝の囲みの中に「がっかうばし」とあります。この一角には明治6年に大岱学校として設立されその後 化成小学校大岱分校があった場所で、現在の大岱小学校です。



☆恩多野火止水車苑

野火止用水は玉川上水(小川分水口)から新河岸川に注ぐ 25km の用水路、承応 4 年(1655)幕府老中松平伊豆守によって開鑿され別名伊豆殿堀とも言われています。野火止用水を利用して各地で水車が設けられ、大岱村では天明 2 年(1782)頃から昭和 26 年(1951)まで動いていた直径 7.5m の大きな水車がありました。水車を回し精米・生麦と製粉の動力源として利用されていました。現在の水車は当時の雰囲気現代に伝えるため平成 3 年に設置されたもので実際に使われた水車とは異なり直径 3.6m 上掛け式水車となっています。



明治 42 年竣工の中橋は珍しく赤レンガ造りの橋げたで出来ている。

☆万年橋のケヤキ 市天然記念物



野火止用水の万年橋に大きなケヤキの木があります。橋伝いに根を伸ばし向う岸に達し橋のようだったことから万年橋のケヤキといわれ、昭和 44 年に市天然記念物に指定された。

ケヤキの下に二基の馬頭観音があり、馬頭観音坐像は寛政 6 年(1794)近所に住む金子家の先祖が愛馬供養のため建てたと伝えられています。また道標があり小平村、東村山停車場、久留米村の文字が刻まれている。

☆東と西の庚申塔

東の庚申塔



西の庚申塔



大岱村の東の入り口と西の入り口を護るように庚申塔があります。享保6年(1721)と宝暦9年(1759)にたてられものです。

昔は、西の庚申塔に覆い小屋があり絵馬が奉納されていました。傍に大きな藤の木があり台風によって倒れ道をふさいだことがあり、近所の人達で道路を片付けたのをきっかけに毎年9月に庚申講のお祭りをしています。



☆運動公園に蒸気機関車 D51 が展示されている。(昭和 51 年開園)



東村山市運動公園はトラック兼用の野球場、テニスコート 夏にはプールもある総合スポーツグラウンドがあり、秋には市民大運動会が開かれています。

公園のシンボルとして蒸気機関車 D51 がプールの脇に展示されています。



この蒸気機関車 D51 は昭和 17 年 3 月日本車輛製造名古屋工場で製造され大阪、兵庫、姫路、秋田、東北地区等で活躍したあと北海道に渡り昭和 51 年 3 月根室本線を最後に引退しました。走行距離は地球を 41 周 165 万キロに及びます。今はだいぶ腐食部分が目立っています。往時の力強い雄姿を甦えさせたいものです。